

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	スポーツ科学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	スポーツ社会学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	水谷 千景	実務経験と その関連資格	教育学(修士)			
《授業科目における学習内容》						
<p>私たちが生きる現代社会において、スポーツにはどのような意義と課題があるのでしょうか。またスポーツは社会の中でどのように発展してきたのでしょうか。これらを学ぶため、本講義では社会学という方法を用いて、スポーツを文化・地域・福祉・政策・歴史などの視点から理解する考え方を身につけます。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
出席点(20%)、平常点(10%)、試験(70点)で評価を行う。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
公益財団法人日本スポーツ協会Reference Book、公認指導者養成テキスト						
《授業外における学習方法》						
スポーツに関して興味のあるニュースや身近な出来事などに興味を持ち、自分なりに考えてみる。また、次回講義に向けての予習を課すこともある。						
《履修に当たっての留意点》						
アスレティックトレーナー筆記試験の内容に関わることを念頭に置きながら授業に参加すること。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	スポーツ社会学を学ぶ意義を理解できる。		公益財団法人日本スポーツ協会Reference Book	講義の内容を復習し、次回講義に備えること。	
	各コマにおける授業予定	【ガイダンス】社会におけるスポーツ				
第2回	授業を通じての到達目標	スポーツが持つ社会的意義を理解できる。		公益財団法人日本スポーツ協会Reference Book	講義の内容を復習し、次回講義に備えること。	
	各コマにおける授業予定	スポーツの意義と価値				
第3回	授業を通じての到達目標	スポーツとメディアがどのような関係にあるのかを理解し、メディアの視点からスポーツを捉えることができる。		公益財団法人日本スポーツ協会Reference Book	講義の内容を復習し、次回講義に備えること。	
	各コマにおける授業予定	メディアとスポーツ:新聞・テレビ・インターネットとの関係				
第4回	授業を通じての到達目標	学校など教育や指導の現場におけるスポーツの意義と課題を理解できる。		公益財団法人日本スポーツ協会Reference Book	講義の内容を復習し、次回講義に備えること。	
	各コマにおける授業予定	①教育とスポーツ:体育・部活動での体罰、指導者の法的責任				
第5回	授業を通じての到達目標	スポーツの指導における暴力・ハラスメントについて、複数の事例から学び、考えを述べる事ができる。		公益財団法人日本スポーツ協会Reference Book	講義の内容を復習し、次回講義に備えること。	
	各コマにおける授業予定	②教育とスポーツ:暴力とハラスメントの事例検討				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	コロナ過での部活動実施の課題について理解を深める。	公益財団法人日本スポーツ協会 Reference Book	講義の内容を復習し、次回講義に備えること。
		各コマにおける授業予定	③コロナ過でのスポーツ:運動部部活動の事例検討		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツにおけるジェンダーをめぐる現状と課題を理解し、自分の考えを述べることができる。	公益財団法人日本スポーツ協会 Reference Book	講義の内容を復習し、次回講義に備えること。
		各コマにおける授業予定	①スポーツとジェンダー:性差をめぐる現状と課題		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	コーチングにおけるセクシャルハラスメントの事例を取り上げ、その問題の現状を理解できる。	公益財団法人日本スポーツ協会 Reference Book	講義の内容を復習し、次回講義に備えること。
		各コマにおける授業予定	②スポーツとジェンダー:指導上のセクシャルハラスメント		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	多様性のある社会に向けて、スポーツはどのような役割と意義があるか、現状と課題から理解できる。	公益財団法人日本スポーツ協会 Reference Book	講義の内容を復習し、次回講義に備えること。
		各コマにおける授業予定	スポーツとダイバーシティ		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	統合型地域スポーツクラブの社会的意義について理解できる。	公益財団法人日本スポーツ協会 Reference Book	講義の内容を復習し、次回講義に備えること。
		各コマにおける授業予定	スポーツと地域社会:統合型地域スポーツクラブの育成・運営		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	ガバナンスとコンプライアンスの考え方について自治の視点から理解できる。	公益財団法人日本スポーツ協会 Reference Book	講義の内容を復習し、次回講義に備えること。
		各コマにおける授業予定	スポーツと自治:ガバナンス・コンプライアンス		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツ事業をプロモーションの視点から理解できる。	公益財団法人日本スポーツ協会 Reference Book	講義の内容を復習し、次回講義に備えること。
		各コマにおける授業予定	スポーツプロモーションの展開		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツ組織のマネジメントとマーケティングのあり方について理解を深める。	公益財団法人日本スポーツ協会 Reference Book	講義の内容を復習し、次回講義に備えること。
		各コマにおける授業予定	スポーツにおける組織マネジメントと事業マーケティング		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツトレーナーに期待される役割をスポーツ権・倫理の視点から理解できる。	公益財団法人日本スポーツ協会 Reference Book	講義の内容を復習し、次回講義に備えること。
		各コマにおける授業予定	基本的人権としてのスポーツ権とスポーツ倫理		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツトレーナー活動を社会学の視点から理解できる。	公益財団法人日本スポーツ協会 Reference Book	講義の内容を復習し、次回講義に備えること。
		各コマにおける授業予定	まとめ		